

保護者対象

わたしたちのまち もばら

～そだてよう！笑顔と自然と文化のまちを～

茂原市自治基本条例 まちづくりに関するアンケート

集計・分析結果



茂原市マスコットキャラクター
モバリん

平成 25 年 9 月

茂原市自治基本条例を考える市民の会

茂原市

目次

1. はじめに	2
2. 調査の概要	2
(1) 調査の目的	2
(2) 調査の内容	2
(3) 調査方法	3
(4) 回収結果	3
(5) 集計・分析について	3
(6) 標本比率の標準誤差	3
3. 調査回答者の属性	4
(1) 性別	4
(2) 年齢	4
(3) 居住地区	5
4. 調査結果	5
(1) まちづくりへの参加状況（複数回答）	5
(2) 子育てをされていて感じること（複数回答）	6
(3) 自治基本条例を市民の会が検討していることの認知度（単数回答）	10
(4) 自治基本条例だよりの認知度（単数回答）	11
(5) 子どもたちのまちづくり参加に必要なこと（複数回答）	11
(6) 市民フォーラムへの参加意向（単数回答）	13
(7) 茂原市の住み心地（単数回答）	13
(8) 茂原市での定住意向（単数回答）	14
(9) まちづくりへの意見（自由記述）	14
5. 参考資料	21
(1) 平成 20 年度茂原市市民アンケートとの比較	21
① 茂原市の住み心地比較	21
② 茂原市での定住意向比較	22
(2) アンケート調査票	24

1. はじめに

茂原市では、平成 14 年（2002 年）の約 9 万 5,000 人をピークに、人口が減少に転じており、現在の人口は約 9 万 1,500 人（平成 25 年 7 月）となっています。

今後はさらに人口減少が続き、平成 42 年（2030 年）には、人口が約 8 万 1,600 人になるという推計結果も公表されています。

いわゆる少子高齢化の進行により、子どもや若者が減る一方、平成 42 年には、3 人に 1 人が 65 歳以上の高齢者になると見込まれています。

このような中、茂原市では、これからのまちづくりについて、市民参加のもと、知恵と工夫で話し合いながら、みんなでまちづくりを進める必要があると考え、まちづくりの基本的なルールである「自治基本条例」について、公募による市民委員 30 名で構成される「自治基本条例を考える市民の会」（以下「市民の会」）が検討作業を行いました。

このアンケートは、これからのまちづくりを担う子どもたちの保護者の皆様を対象に、今後のまちづくりについてのご意見をお伺いし、「自治基本条例」の検討に反映させることを目的として実施されました。

2. 調査の概要

(1) 調査の目的

この調査は、公立小中学校・幼稚園・保育所に通う児童・生徒の保護者を対象に、今後のまちづくりについてのご意見をお伺いし、「自治基本条例」の検討に反映させることを目的として実施されました。

(2) 調査の内容

- ① 保護者自身のまちづくりへの参加状況
- ② 子育てをされていて感じること
- ③ 「自治基本条例」を「市民の会」が検討していることの認知度
- ④ 「自治基本条例だより」の認知度
- ⑤ 子どものまちづくり参加に必要なこと
- ⑥ まちづくりフォーラムへの参加意向
- ⑦ 茂原市の住みごころ
- ⑧ 茂原市での定住意向
- ⑨ まちづくりに関する意見・提言等

(3) 調査方法

- ① 調査地域 茂原市全域
- ② 調査対象 公立小・中学校、幼稚園・保育所に通う児童・生徒の保護者
- ③ 対象者数 7,819名（小学校 4,290名・中学校 2,377名・幼稚園 231名・保育所 921名）
- ④ 調査方法 公立小・中学校、幼稚園・保育所を通じて配布、インターネット経由または紙で回答
- ⑤ 調査期間 平成 25 年 7 月 12 日～8 月 30 日

(4) 回収結果

- ① 配布数 7,819 件
- ② 回収数 224 件（インターネット経由 75 件・紙 149 件）
- ③ 回収率 2.9%

(5) 集計・分析について

- ① 調査結果の数値は、原則として回答率(%)を表記しています。
- ② 回答率(%)は小数点第 2 位を四捨五入し、小数点以下第 1 位までを表記している関係で、合計が 100%とならない場合があります。
- ③ 回答率(%)はその質問の回答者数を基数として算出したため、複数回答の設問はすべての比率を合計すると 100%を超えることがあります。

(6) 標本比率の標準誤差

信頼度を 95%とした場合の母比率 P は次式で得られる。

$$p - 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}} < P < p + 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N：母集団の大きさ（保護者数）7,819

n：標本の大きさ（回答者数）224

p：標本比率(%)

今回の調査結果における標本誤差は下表のようになる。

n \ p	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
224	±3.87%	±5.16%	±5.92%	±6.32%	±6.45%

※この表の見方

例えば、ある設問の回答数 n が 224 であり、その設問中の選択肢の回答率 p (標本比率) が 70%であった場合、保護者全体の回答率 P (母比率) は 95%の確率で 64.08%~75.92% (±5.92%以内) に含まれる。

3. 調査回答者の属性

(1) 性別

	回答数	構成比(%)
男性	23	10.3
女性	188	83.9
無回答	13	5.8
合計	224	100.0

(2) 年齢

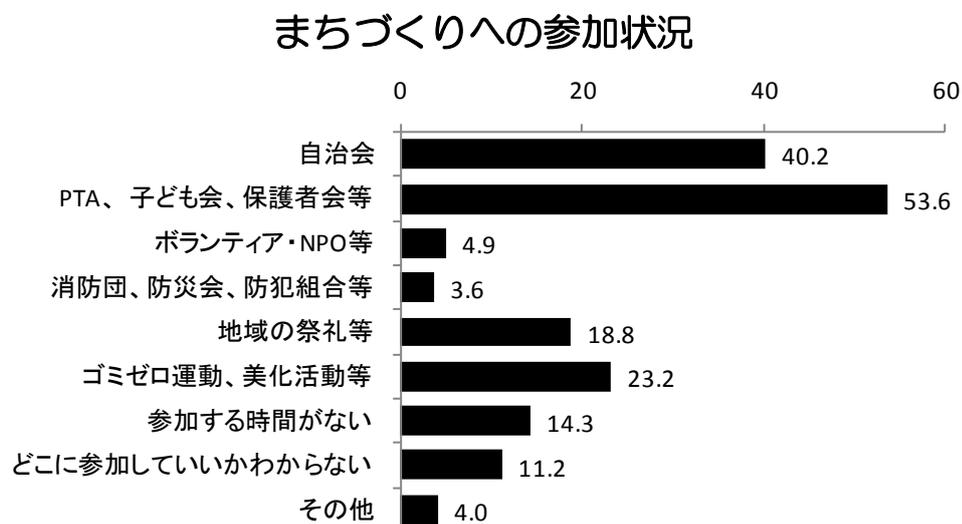
	回答数	構成比(%)
20 歳代	24	10.7
30 歳代	110	49.1
40 歳代	69	30.8
50 歳代	6	2.7
60 歳代以上	0	0
無回答	15	6.7
合計	224	100.0

(3) 居住地区

	回答数	構成比(%)
茂原地区	58	25.9
東郷地区	24	10.7
豊田地区	11	4.9
二宮地区	5	2.2
鶴枝地区	5	2.2
五郷地区	7	3.1
本納地区	15	6.7
新治地区	1	0.4
豊岡地区	36	16.1
緑ヶ丘	2	0.9
無回答	35	15.6
合計	224	99.9

4. 調査結果

(1) まちづくりへの参加状況（複数回答）



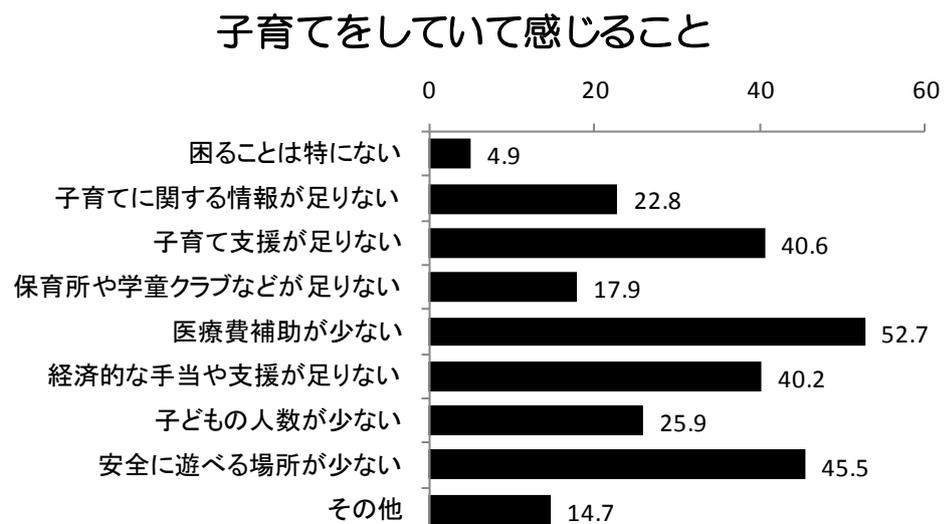
「PTA、子ども会、保護者会等」への参加が最も多く（53.6%）、次いで「自治会」（40.2%）、「ゴミゼロ運動、美化活動等」（23.2%）、「地域の祭礼等」（18.8%）という結果になりました。

「参加する時間がない」（14.3%）、「どこに参加していいかわからない」（11.2%）という声も寄せられました。

※「その他」の主な記述

- ママ友との市民活動
- これから自治会に参加予定
- このアンケートに記入すること。
- どぶさらい、授業参観等
- 学校のPTAに参加しています
- 自治会の行事。PTAの奉仕作業などの学校行事。地域の盆踊りや文化祭などの協力。
- PTA/子供会の役員として参加

(2) 子育てをされていて感じること（複数回答）



「医療費補助が少ない」という意見が最も多く（52.7%）、次いで「安全に遊べる場所が少ない」（45.5%）、「経済的な手当や支援が足りない」（40.2%）、「子育て支援が足りない」（40.6%）という結果になりました。

※「その他」の主な記述

【子育て支援】

- 市民センターや福祉センターの遊戯室は幼児のみであり、幼児と小

学生の子どもを持つ場合、いっしょに室内で遊べる場所がない。

- 障害を持つ子の自立支援をしてほしい(特に中学卒業後)
- 発達障害児(特に高機能自閉症やアスペルガー障害など)の療育施設が少なすぎる。放課後児童デイを行う施設が少ない。あっても支援学校がメインのため、支援学級の児童は使えないことが多い。
- 虐待防止の対策、いじめ防止などの対策がない。
- 駅前学習プラザの図書室を子連れで利用したところ、空調がひどく、暑くて具合が悪くなった。また、絵本のエリアで子どもに読み聞かせを小声でしたら、受付の人に迷惑そうにされて退館した。市立図書館も老朽化していて、快適に利用できない。地震が来たら危険そう。
- 図書館が小さい。
- 小学生と中学生の子供がいます。茂原市の図書館をよく利用しますが多くの子供たちがもっと本に親しみを持てるような魅力的な図書館にしてほしいです。

【保育所・学童クラブなど】

- 保育料が高い。茂原市独自の子育て支援がない(少ない)
- 病児保育をする施設がない(病院 1カ所のみ)もっと増やしてほしい
- 学童クラブの利用料金が安い。
- 学童には、民設と公設があるようですが、どちらも料金が高く感じ、特に長期休みの夏休みなど、親が働き子供の保育者がいない為の学童なのに、料金が高く、何の為に働きに出ているのかよく分からなくなってしまうような料金で、民設も公設も一律に適度な料金にして頂きたいとお願いしたいと思っています。
- 格安の子育て世代の託児所が欲しい
- 保育所や小学校が古いところが多い。

【医療】

- 子どもの医療費の補助が、近隣では中学生まで無料だったり、市町村によっては高校生も補助がある地域があります。予防接種の補助

も少ないと思います。子どもが減少しているなら、せめて医療費だけでも無料にしてほしいと思います。医療費もかなりの負担になるので、なかなか病院にもかかれません。もう少し検討していただくと助かります。

- 他の市は、中学まで医療費が補助されるのに茂原はないので、暮らし辛い。入院費の補助なんて、現実使う事がそうそうないので、あまり意味がありません。そして、国保税は、年間何十万と払わないと、その補助さえ受けられない。子育てしづらい世の中ですね。これじゃ、子供が増えないのも納得。
- 茂原の周りの町村のほうが医療費の助成が手厚い。茂原も是非やってほしい。
- 医療費負担を収入に関係なく義務教育終了するまで一律保証にして欲しい。
- 医療費補助を中3まで延長してほしい。
- 乳幼児医療費助成受給券の所得制限はやめてほしい。子供は平等に扱ってほしい。
- 子供の医療費補助に所得制限を設けるのを止めてほしい。私は一人で子供を育てているため、子供の将来を考えて一生懸命仕事をして、収入を上げたところ、所得が制限を超えたと言われて、医療費補助を受けられなくなりました。収入を上げると、税金は多く払う上、保育所の費用も上がり、医療費まで自己負担が増え、実質収入が増えても、支出が増えました。全くもってやりきれない気分です。そこそこの所得をもらい、補助を受けた方が、子供という時間は増え、自分の仕事は楽になります。そういう人を市は望んでいるのでしょうか？この先、収入が下がらないと、ずっと医療費補助を受けられないので、茂原市に住むより、他の市町村へ転出したいと思っています。
- 特に予防接種の医療費補助が少ない
- ひとり親家庭医療費給付が一保険医療機関・一保険薬局につき1か月1,000円負担で計2,000円。他の市町村では無料だった(全額給付)
- 子ども医療費補助の期間が短い。

- 医療体制が整っていない。特に夜間。
- 小児科医療が充実していない
- 小児科が少ない！いつも混んでいて不便！
- 日・祝に子どもが病気になったとき、市外に行かないと病院がない

【道路・公園等の整備】

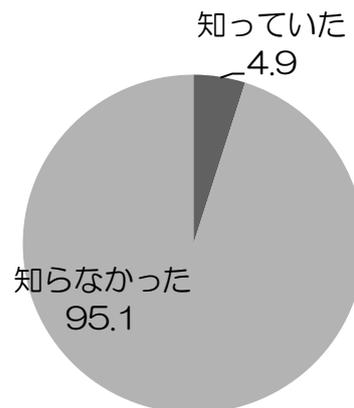
- 道路の整備
- 街灯が少なく、側溝のふたがないところが多い。
- 裏道・抜け道の交通量が多い割に、歩道がなく危険
- 公園や通学路に手を加えていない(ガードレールがない等)箇所が多すぎるので危ない。老朽化もちゃんとチェックしているのか疑問。
- 通学路の不備。五郷小学校に子供を通わせております。小学校近隣からの通学の児童の歩道は改善されましたが、やや遠距離から通う子供たちの通学路はとても危険です。特に綱島、六田台地域は車一台分しか通れない道を子供たちが歩いており非常に危険です。帰宅時でも人通りがほとんどない田んぼ道を歩き危険な目に合っている子供がたくさんおります。また、医療費の問題は深刻で茂原市に住むなら・・・と茂原市寄りの長生村などに住む人々も周囲にたくさんおります。
- 隣の市の方が子育てに良いという理由で転居する友人を何人も見てきました。学校教育や金銭的な補助など、茂原市で子育てすることに魅力を感じません。自然が多いと言っても、安心して遊べる公園もあまりありません。
- 同じ小さな子供の遊ぶ施設が無い。公園はゴミと草がたくさんいつも生えていて遊ぶ事が出来なかった。保育園も立派なプールがあっても、1週間に2回しか使っていない。勿体ない。もっと使うべきだ。保育時間も短い。本当に困っている人は夜働いている。夜中までやる専門の保育園が必要。子供1人留守番させている家庭が市内に何件あるかご存知ですか?かなり有りますよ。年寄りの見守りも大切ですが、そんな家庭のある事市役所の方はわかっている、施設を作らないのは子育てしづらと思う。
- 子供が子供らしく普通に遊べる箇所が異様に少ない。またその場へ

向かうにあたって、歩道帯もなかったりする。

- 安全に遊べる施設が少ない。
- 遊具やアスレチックなどが少ない
- 公園が少ない(本納)
- 公園のトイレがない。あっても壊れている。
- 公園が無くととても不便を感じる
- 茂原公園にホームレスの不審者がいて、奇声を出しており、子どもがおびえていた。

(3) 自治基本条例を市民の会が検討していることの認知度（単数回答）

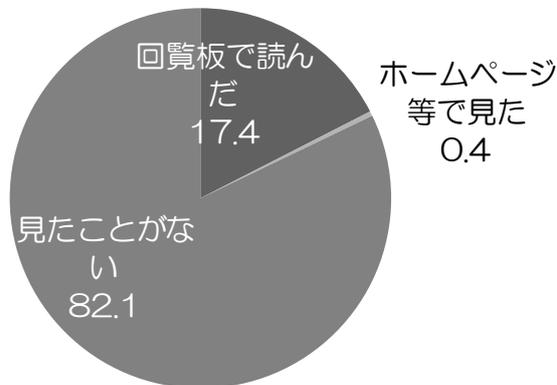
自治基本条例を市民の会が検討していること
の認知度



市民参加のまちづくりの基本的なルールである「自治基本条例」について、公募による市民委員 30 名で構成される「市民の会」が検討していることを、95.1%の方が「知らなかった」と回答しました。

(4) 自治基本条例だよりの認知度（単数回答）

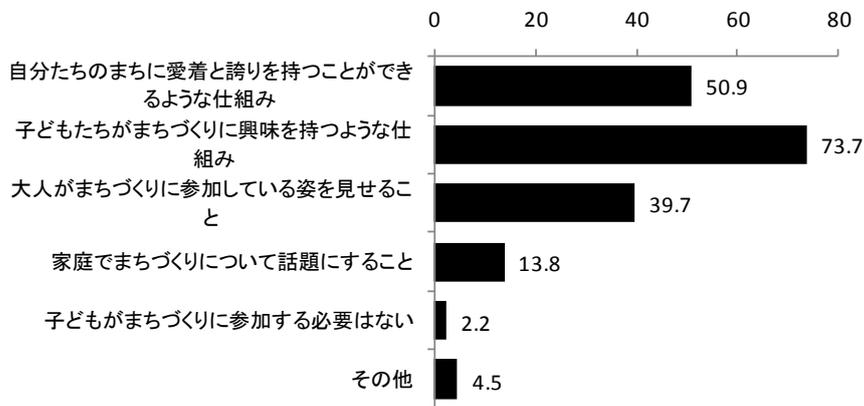
自治基本条例だよりの認知度



「市民の会」が毎月発行している「自治基本条例だより」について、82.1%の方が「見たことがない」と回答しました。

(5) 子どもたちのまちづくり参加に必要なこと（複数回答）

子どものまちづくり参加に必要なこと



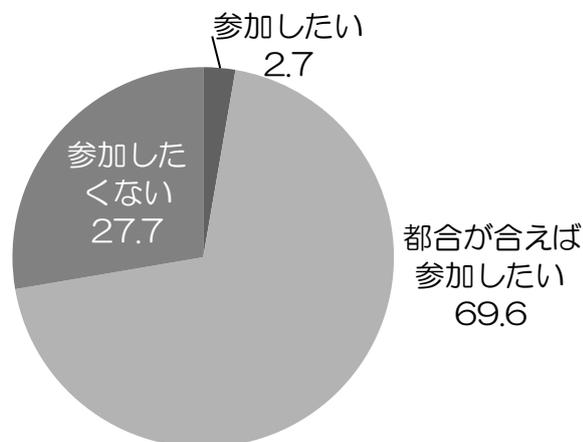
「子どもたちがまちづくりに興味を持つような仕組み」が最も多く（73.7%）、次いで「自分たちのまちに愛着と誇りを持つことができるような仕組み」（50.9%）、「大人がまちづくりに参加している姿を見せること」（39.7%）となりました。

※「その他」の主な記述

- 親子で参加できるもの、子供だけで参加できるもの、茂原を象徴するスポーツをなにか決めて、育成する。サッカーでもよし、テニスでもよし、男女関係なく出来て、中学の部活にもあるスポーツが良いかと思います。幼児のうちから親しませる。参加するマナー、応援するマナーも幼い頃から、身につけさせる。マナーは、親にもつたえる。
- 伝統文化や行事を地域の方と行う。
- 市からの情報発信の充実
- 自治会など何も無い住宅地アパートなどに住む人達にも色々情報イベントなどがわかるようになると良いと思います。
- 愛着、好きになること。茂原の魅力ってなに？
- 子供より先ずは親の参加意識の向上ではないか。楽しい事は参加はするが役員はやりたくない。その様な家庭が多い。ささやかな努力だが、挨拶などつながりからでしょうか。複雑な家庭も多い様ですが、個人情報がどうのこうの、もっと関わって、現状の把握が必要かと思っています。
- 市役所がもっと街の美化に力を入れるべき。環境保全課がない市なのでは?と思うほど、草取りや道路の手入れがされていない。
- 公園で子どもたちが遊べば活気づく。能動的に参加する必要はなく、あくまで自然体で良い。
- 安全で安心なまちづくり
- まちづくりだけでは抽象的すぎる。言葉の意味を具体的に示してほしい。
- 子どもを茂原や千葉に縛るようなことはしないでほしい
- 子供のまちづくり参加など表向きなのが、傍からみても分かる。端から意見を汲む気のない事をするなら、最初から妙な希望を持たせない方が良い。先ずは大人が子供目線になることが大事。

(6) 市民フォーラムへの参加意向（単数回答）

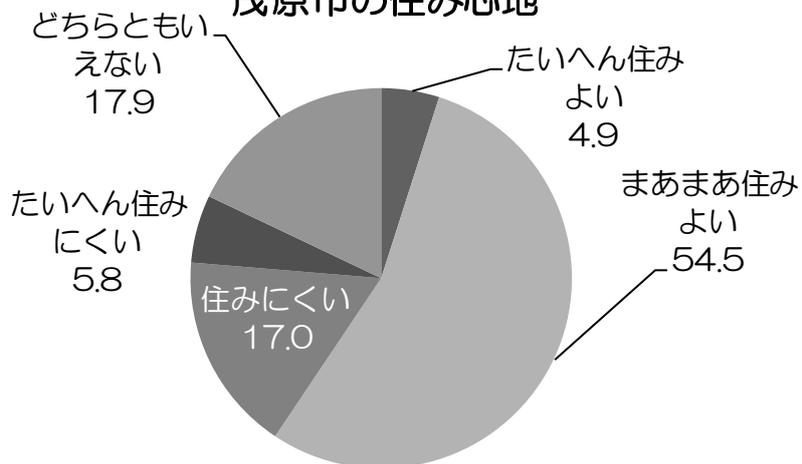
市民フォーラムへの参加意向



「参加したい」「都合が合えば参加したい」と回答した方が合わせて72.3%であった一方、「参加したくない」と回答した方が27.7%に上りました。

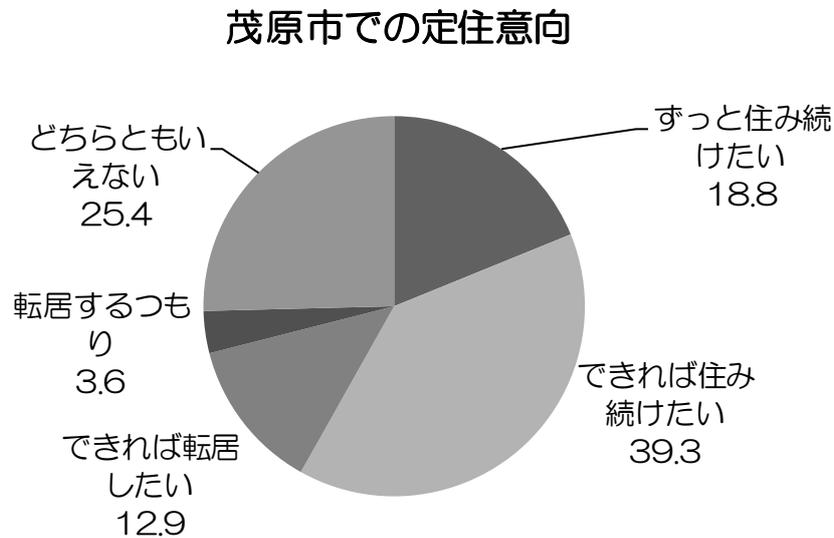
(7) 茂原市の住み心地（単数回答）

茂原市の住み心地



「たいへん住みよい」「まあまあ住みよい」と回答した方が合わせて59.4%いたのに対し、「住みにくい」「たいへん住みにくい」と回答した方が合わせて22.8%に上りました。

(8) 茂原市での定住意向（単数回答）



「ずっと住みたい」「できれば住みたい」と回答した方が合わせて58.1%いたのに対し、「できれば転居したい」「転居するつもり」と回答した方が合わせて16.5%に上りました。

(9) まちづくりへの意見（自由記述）

【医療】

- 他の市町村に比べて、子育て支援が足りない。少なくとも小学6年生までの医療通院補助。できれば、中学3年生までの通院補助をしてほしい。（現在は、小3までの通院補助、中3までの入院補助しかない）
- 医療費補助。近隣市町村は、小学校6年生まで通院無料もしくは数百円の負担です。茂原市も同様に補助をしていただきたいです。
- 医療費の補助、幼稚園や学校でかかる費用の補助
- 子どもの医療費補助に所得制限をするべきではない。また、そういう市がほとんど。
- 医療費を無料にしてほしい。
- 学校で病院に行くことが多い(学校の健診で用紙をもらったり、感染症などをもらうことが多い)ため、子どもの医療費補助を中学3年生まで無料にしてもらいたい。

- まだ転居してきたばかりなので、街の様子や住みやすさについては、まだ良くわかっていません。ただ、転居前の市町村では、子供の医療費が全学年補助されていたので、負担大になったことで驚いています。すぐには難しいとは思いますが、今後もっと住み続けたいと思う街を作るために、医療費も検討してほしいと思います。
- 医療体制、特に夜間医療の充実を期待する。
- 出産出来る産婦人科が少ない。市内に2つしかないなんて…もう少し増やしてほしいです
- 少子高齢化の問題や、茂原の財政や子育ての優遇の問題で茂原を避けて新居を探す方が多い話をよく聞きます。実際子育てをされていて、数年前ヒブワクチンを自費で接種し近隣の町村は認可された後に自費で接種した費用が還付されたのに対し茂原市はない・・・など茂原は住みにくいと感じる事が多々あります。
- 子供の医療費補助が小学校3年生までは、おかしいです。長生村なんて中学生まで補助してくれるんですよ?!この差は何なんですか??まだまだ小学校の時は風邪や病気も沢山します。それなのに補助がなくなったら医療費もとても大変になります!今までの様に気軽には病院には通えなくなりますね…!!子育て世代に、本当に優しくない市ですよ…(-_-;)もっときちんと考えてくれないと困る!!ちゃんと対応して下さい
- 医療費を無料化してほしい。

【子育て支援】

- 保育所の保育料が高くて働いている意味がない。
- 子どもを預けられる施設などがあたらいいと思う
- 室内で気軽に遊べる場所が欲しい
- 今はもう外房の中核都市と言えない。近隣の自治体(白子町など)の子育て援助やまちづくりなどを参考にして、良いところを取り入れるなど積極的に動かないと、これ以上の進展は難しいと思う。
- 子育ては、とても大事だが便利(預ける)になりすぎて、母子のスキンシップが要らなくなるようでは、将来社会がどうなっていくのか不安。
- 茂原市は、特に税金・国民保険料が高いと言われています。子育て支援の中でも、やっぱり学童保育が高いと言われています。近隣の市や郡、

町村と比較するとどうでしょうか？

- とにかく学童保育の料金が高い!いすみ市や長生郡だと月に5千円の所があります。何故、地域によってこんなに料金が違うのでしょうか…!!
- 障害のあるこどもを育てる上で、何をするにも市外でないとできないことが住みづらい(療育、病院など)。外房地区の基幹市だと思うのだが、療育施設も支援学校もない。バス、電車も内房(木更津など)に比べて少ないため、子が成長していくこれから、が不安。

【道路・公園等の整備】

- 大きな公園がもう少し増えると良い。
- 安全で遊べる公園をたくさんつくってほしい
- プールを作ってください
- 通学路や学校、公園の整備をやって、子どもが安全に勉強や遊びができるようにしてほしい。
- 小学校の登校路が朝の通勤の格好の抜け道になっていて危ない。
- 小学校の通学路(六田台地区)が狭くて子供達が危険。
- 緑園台から二宮小学校への通学路にガードレールがないので、とても危険です。早急に対応してください。事故が起こってからでは遅いのです。これ以上子どもの数を減らさないために、できることから始めてください。
- 子どもたちやみんなのために、道路の歩道やガードレール等を整備していただきたいです。道に「はみ出る」草木等も、高齢者の方だと手入れも難しいと思いますので、市で気にかけていただけると嬉しいです。
- 道路・街灯の整備に力を入れて欲しい。
- 安全パトロールとか、道路の安全面など改善してほしいです。
- 子どもの遊び場や子どもたちを連れて歩きやすい街にしてほしい。現在は、車がないと何かと動きにくい。

【情報の共有】

- 「市に聞かないと分からない」「調べないと分からない」という現状を、もっと改善してほしい。

- 市の広報などで、こういうことをしていますなど、情報を得たい。

【安全・安心】

- 地域のパトロールを中の島地区のようにつくってもらいたい。
- 茂原市民は、マナーが守れていない人が多い。心が豊かではないのでは？と思うので、福祉などに力を入れ、安心して暮らせるまちづくりをしてほしい。
- 家の周辺の街灯が少ないので、夜真っ暗で怖い
- 今まできちんと市民の意見を取り入れてまちづくりをしてきたとはとても思えない。女子高生行方不明事件もあったことだし、もっと防犯に対する取り組みをしっかりとしてほしい。街灯が少ないのはどうかと思う。道路をもっと整備し、市バスなど、利用のしやすい交通手段をつくってほしい。街灯も市役所前の通りはあるが、学校や少し離れた病院等の近くにないのでつくってほしい。税金を無駄にしないでほしい。
- 裸でブラをつけ浮浪するおっさんとか変な人がことさら多く、子どもの一人歩きが不安。
- 先ずは茂原の治安を優先に上げるべき。治安が良くなれば子供も安心して生活もできる。七夕祭りの治安の悪さを今の子供が見て、それを真似て何十年も繰り返されてきた。市民による自警団の強化など、安心して居られるかが、まちづくりの要でも有るかと思う。

【地域の活性化】

- 榎町商店街のさびれた様子や、駅前の空きビルが多いことが、市民として悲しい。活気がほしい。
- 駅周辺や茂原七夕まつりのメインの通りがさびれていて、他から訪れた人々のイメージの低下になりそう。活性化してほしい。空きテナントや空きビルなどの有効的な活用ができないのかと思う。
- すごく良いところがあるのに、もっと活かしてほしいです。六斎市、富士山まで見える市役所、広い茂原公園など。
- 他県から茂原に集まるような遊び場、会社をつくってほしい。
- 茂原市内外からも人が集まり、楽しめるような場所があれば。土地はたくさんあるように思いますが。

- 市民活動に使える情報センターがほしい
- イベントを増やしてほしい
- いつだったか、子供から「茂原名物は何?」と聞かれて説明はしたものの、どれも弱い。茂原市で生まれ育った自分ですがなんだか情けなくなりました。昔のように活気のあるアーケード街、規模の大きな茂原七夕祭りが復活して欲しいです!活気が生まれれば町全体が元気になると思います。
- 茂原駅周辺の整備が足りない。人を集めるには、駅周辺が充実していないとホームタウンにもなれない。人口の増加は、子育てのし易さよりも企業誘致に限ると思う。
- 六斎市、七夕祭りなど、古き良きものを守り残していきたい。
- 自治会の高齢化による、地域参加行事の人数不足。昔からのしきたりは大事だと思うが時代が変わってきてるのに、ずっと昔と同じで通すのはどうかと思う。しきたりも大事だが、今の時代にあった伝統行事の取り組みを若い人達と話し合い素晴らしい町づくりを目指して欲しい。
- 子供が楽しめる施設やショッピングモールの誘致をして欲しい
- 正直、商店街の屋根を外したのは間違いだったと思います。外したのであればまた新しいのを付けるべきだと思いました。
- 何か町おこしに繋がる情報、起爆剤に成りそうな情報が欲しいですね。
- 市内循環バスを子供やお年寄りがもっと利用しやすい仕組みを作してほしい。

【その他】

- 全く茂原市の明るい将来が見えないです。
- 特にありません。
- 若い世代が住みたいと思うような町づくりをしないと、近隣の市や町に人口が流出してしまうのではないかと。現に、実家が茂原市にあっても大網や土気に移り住む人が多いように思う。
- 「まちづくり」と言われても、具体的にどのようなことを?茂原市で子育てしているメリットが見えてこないのも、そのような状況で市民の会がどのように機能するのかわかりません。医療費補助や、通学路の整備

など、茂原市で子育てするメリットがもっとあれば嬉しいです。

- 以前他県へ主人の転勤で住んでいましたが茂原はゴミ袋が高いです。その地域は茂原の半額。それでも高いと近所の方は言っていましたが私は安くて驚きました。
- ゴミ袋が高すぎ
- 図書館、公園など公共の場からごみのカゴがなくなった。周りにゴミが落ちていて拾って捨てようとしてもカゴがなく、近くのごみ収集所には当自治会以外捨てるなとなっている。先日、見かねてゴミを拾ったが、捨てる場所もなく自宅まで持ってくる羽目になった。これではだれも拾わない→町が汚くなる→さらに捨てる人が出る→町に愛着もなくなる。
- 税金が高く、補助は少ない。子育て世代の友人は、他の市に出て行ってしまった。
- 市民税が高い
- 他の市町村に比べて市県民税が高い。
- 茂原市民会館の建て替えを、お願いしたい。設備が悪すぎます。(特に、楽屋舞台袖)
- 茂原市は、特色がない。何に力を入れているのか…芸術?スポーツ?学問?公共施設(特に市民会館)の老朽化も深刻な問題だと思う。
- 市役所が立派すぎるのに対して、市民会館や市民が利用できるスポーツ施設や公民館や図書館などの老朽化が激しく、その差に驚いています。まずは市民の為の施設を優先に考えるのは当然の事ではないでしょうか。
- 市民会館をきちんと整備すれば、色々なイベントや催しも呼べて市も活性化するのではないのでしょうか。
- 次世代に借金を残したくない
- 市役所の対応が悪い
- 市役所職員の仕事の委託化が目につきますが、休日に芸術・スポーツを楽しむ人が断然多いはずなのに「委託」では話にならない。職員が休日はいないから対応できないと言われたことが何度もある。おかしいと思う。

- 議員の方がどのように市民の為に頑張っておられるのかも伝わって来ません。地域の行事に議員として顔を出すだけ、というイメージが強いです。議会開催日に茂原市役所の地下の一番停めやすい駐車場が本日議会の為、議員専用になるのもこの町はどうなのか?と思います。雨の中傘をさして遠くの駐車場から小さい子供を連れて市役所に行かなければならない市民の事を考えて欲しいと思います。茂原市民は茂原は住みにくいとみんな思っていると思います。
- 子どもが小さいため、フォーラムなどには同行できない。
- 家を建てたので転居は難しい。
- いつも自治会で基本条例の回覧物を見ています。ご担当者様ご苦労様です。

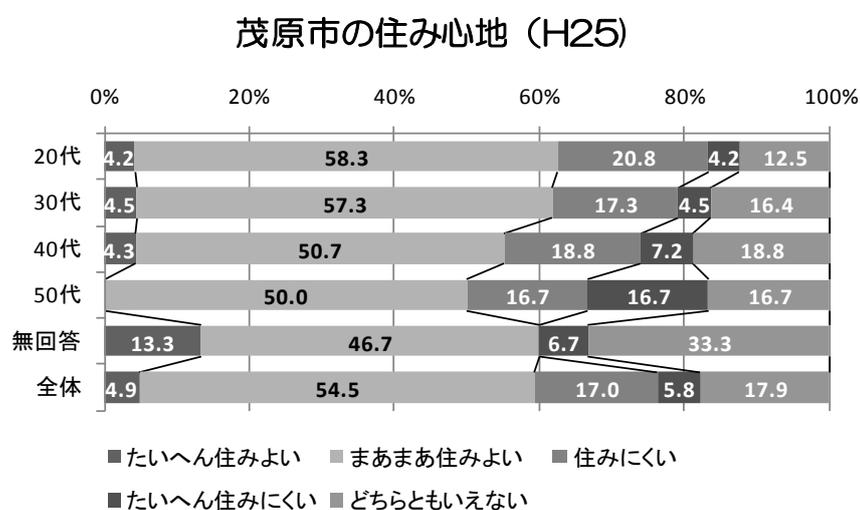
5. 参考資料

(1) 平成 20 年度茂原市市民アンケートとの比較

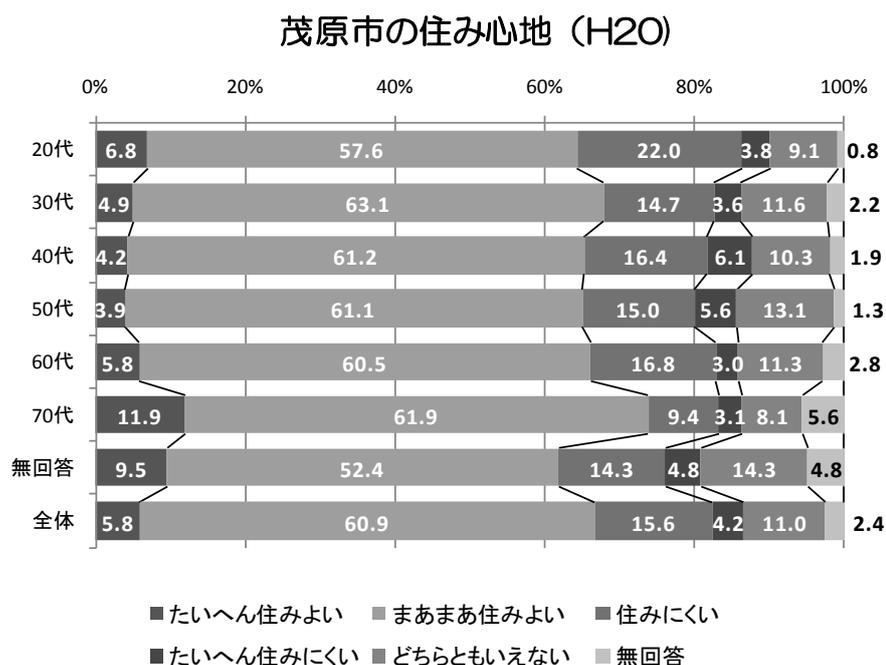
① 茂原市の住み心地比較

平成 20 年度に実施した市民アンケートでも、茂原市の住み心地および茂原市での定住意向について質問していました。

しかしながら、母集団（全市民）および標本数（20 歳以上無作為抽出 3,000 人）の違いがあり、今回のアンケートとは単純に比較できないため、参考としてまとめました。



※60代は0件であったためグラフから省略

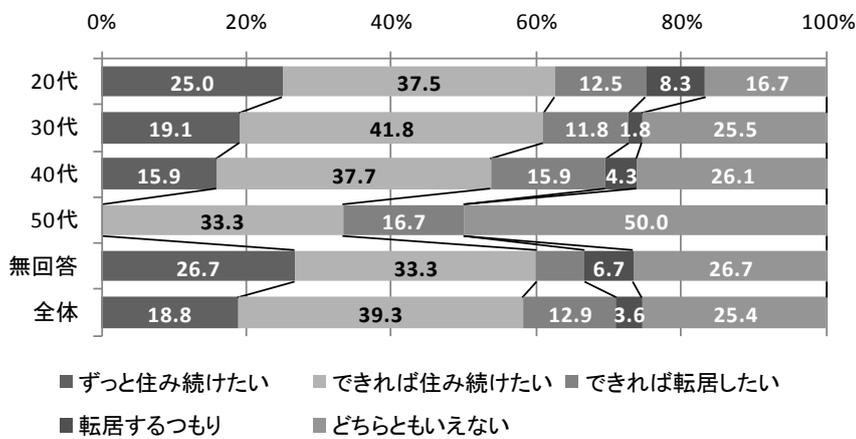


今回のアンケートは標本数が218と少なく、特に20代(24件)、50代(6件)、60代(0件)と年齢層ごとに回答数のばらつきがあったため、一概に比較はできませんが、どの年齢層も「たいへん住みよい」「住みよい」と回答した方が全体の6割近くに上りました。一方、年齢層が上がるにつれて、「住みにくい」「大変住みにくい」と回答した方の割合が高くなっています。

平成20年に実施した市民アンケートでは、どの年齢層においても、「たいへん住みよい」「住みよい」と答えた方の割合が、全体の割合とほぼ同じ結果でした。

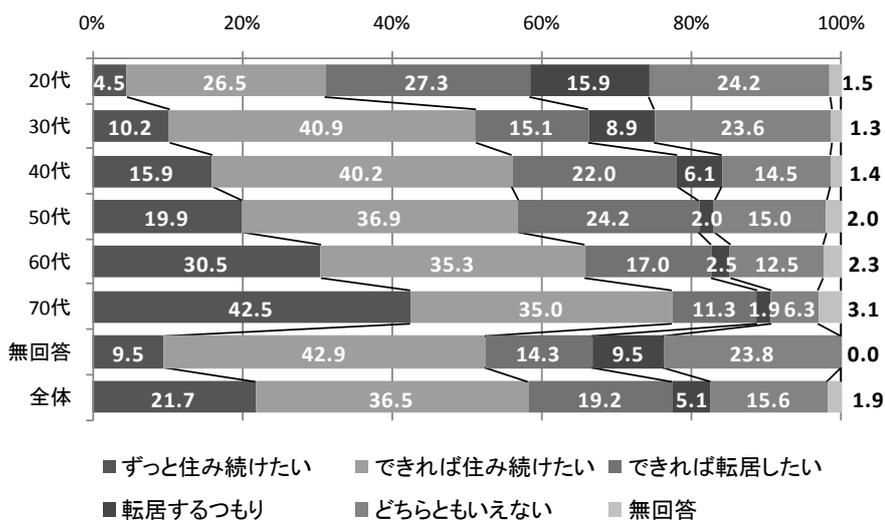
② 茂原市での定住意向比較

茂原市での定住意向 (H25)



※60代は0件であったためグラフから省略

茂原市での定住意向 (H20)



今回のアンケートでは、「ずっと住みたい」「できれば住みたい」と回答した方の割合が、年齢層が上がるにつれて少なくなる一方、「どちらともいえない」と回答した方の割合が、年齢層が上がるにつれて多くなっていました。

平成 20 年に実施した市民アンケートでは、年齢層が上がるにつれて「ずっと住みたい」「できれば住みたい」と答えた方の割合が増える一方、「できれば転居したい」「転居するつもり」と答えた方の割合が少なくなる結果となっていました。

(2) アンケート調査票

保護者の皆様へ

わたしたちのまち もばら



～そだてよう！笑顔と自然と文化のまちを～

茂原市マスコットキャラクター
モパリン

茂原市自治基本条例 まちづくりに関するアンケート

茂原市では、平成 14 年(2002 年)の約 9 万 5,000 人をピークに、人口が減少に転じており、現在の人口は約 9 万 1,500 人(平成 25 年 7 月)となっております。

今後はさらに人口減少が続き、平成 42 年(2030 年)には、人口が約 8 万 1,600 人になるという推計結果も公表されています(右図参照)。

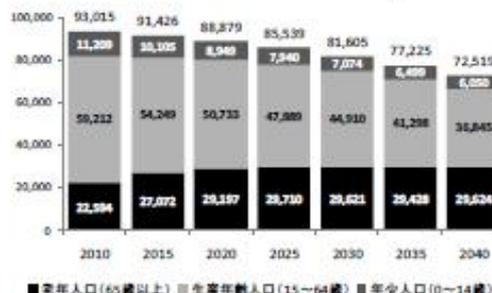
いわゆる少子高齢化の進行により、子どもや若者が減る一方、平成 42 年には、3 人に 1 人が 65 歳以上の高齢者になると見込まれています。

このような中、茂原市では、これからのまちづくりについて、市民参加のもと、知恵と工夫で話し合いながら、みんなでまちづくりを進める必要があると考え、まちづくりの基本的なルールである「自治基本条例」について、公募による市民委員 30 名で構成される「自治基本条例を考える市民の会」(以下「市民の会」)が検討作業を続けています。

このアンケートは、これからのまちづくりを担う子どもたちの保護者の皆様を対象に、今後のまちづくりについてのご意見をお伺いし、「自治基本条例」の検討に反映させることを目的としています。

アンケートの題目にご理解をいただき、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

※携帯電話やパソコンなどからのご回答にご協力をお願いいたします→
<http://enq-maker.com/8fk4gVA>



■老年人口(65歳以上) ■全基年人口(15～64歳) ■年少人口(0～14歳)

平成 25 年 7 月

茂原市自治基本条例を考える市民の会

Q1.あなたご自身のまちづくりへの参加状況をお知らせください。(☑はいくつでも)

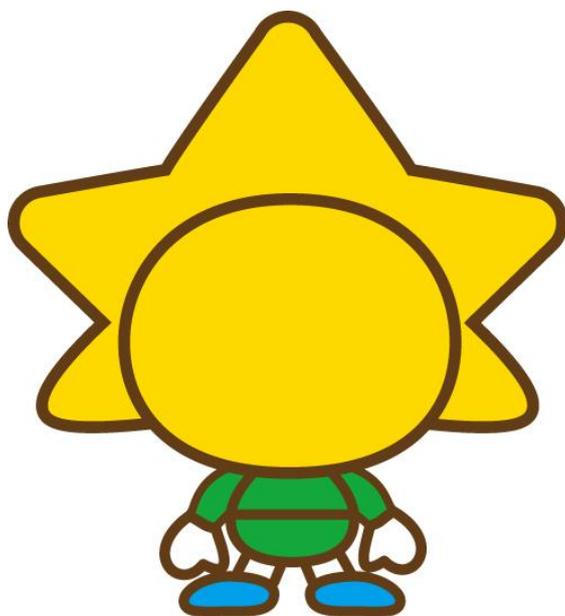
- 1.自治会
- 2.PTA、子ども会、保護者会等
- 3.ボランティア・NPO 等
- 4.消防団、防災会、防犯組合等
- 5.地域の祭礼等
- 6.ゴミゼロ運動、美化活動等
- 7.参加する時間がない
- 8.どこに参加していいかわからない
- 9.その他()



Q2.茂原市で子育てをされていて、お感じになっていることはどんなことですか(☑はいくつでも)

- 1.困ることは特にならない
- 2.子育てに関する情報が足りない
- 3.子育て支援が足りない
- 4.保育所や学童クラブなどが足りない
- 5.医療費補助が少ない
- 6.経済的な手当や支援が足りない
- 7.子どもの人数が少ない
- 8.安全に遊べる場所が少ない
- 9.その他()

裏面につづきます



保護者対象 まちづくりに関するアンケート

平成 25 年 9 月

茂原市自治基本条例を考える市民の会・茂原市
(事務局 茂原市役所企画政策課)
〒297-8511 千葉県茂原市道表 1 番地
TEL0475-20-1516 FAX0475-20-1603
kikaku@city.mobara.chiba.jp